

「材木町コミュニティ道路(盛岡市)」

「大野産業デザインセンター(洋野町)」

が大賞を受賞しました！！

「手づくり郷土賞」は、地域の魅力を創出している良質な社会資本や地域づくり活動を広く募集、発掘し、これらを全国に広く紹介することにより、個性あふれ活力のある地域づくりに資することを目的として昭和61年度に創設された国土交通大臣表彰制度で、今年で22回目となります。

平成19年度応募案件の審査において、東北から3件（全国で27件）が選定されましたが、その内、岩手県では「材木町コミュニティ道路(盛岡市)」及び「大野産業デザインセンター(洋野町)」の2件が大賞部門での受賞となりました。

その認定証伝達式が、平成19年12月7日（金）に盛岡市役所にて、平成19年12月19日（水）にグリーンヒルおおのにてそれぞれ行われ、盛岡市長及び洋野町長が、東北地方整備局副局長から認定証と記念品を受け取りました。

今回の受賞を契機として、受賞地域での社会資本を核とした地域づくり活動が益々活発化するものと期待されます。

「材木町コミュニティ道路(盛岡市)」



材木町コミュニティ道路



「よ市」で賑わう材木町コミュニティ道路

認定証伝達式の様子

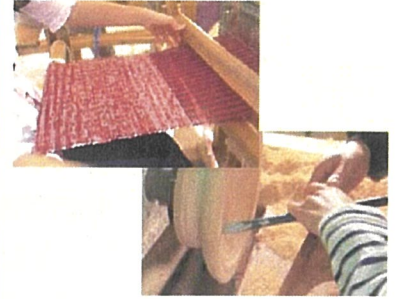


写真左から、東北地方整備局副局長、盛岡市長



関係者記念撮影

「大野産業デザインセンター(洋野町)」



大野産業デザインセンター(周辺の「おおのキャンパス」に体験施設や産直施設、パークゴルフ場などが整備されている)

認定証伝達式の様子



写真左から、洋野町長、東北地方整備局副局長



関係者記念撮影

手づくり郷土賞は各県(当県は県土整備部)が募集窓口となり、県内市町村・活動団体から応募を募り、国土交通省が審査しています。毎年4月から6月の間に募集しておりますので、皆様からのご応募お待ちしております。

(国土交通省担当：事業総括調整官室 HP：<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/index.htm>)

「部門」

『地域整備部門』：地域の個性・魅力を創出し、地域の魅力資源あるいはシンボルとして、多くの人々に利用され、かつ地域の理解と協力を得て良好に維持管理されている社会資本を対象。

『地域活動部門』：社会資本と関わりをもちつつ地域の個性、魅力、活力を創出するとともに、地域づくりに多くの貢献や波及効果をもたらしている公益性のある活動を対象。

『大賞部門』：「手づくり郷土賞」を受賞してから10年以上にわたって地域住民に親しまれ、積極的に維持、活用されるなど、地域の魅力を創出し、又は地域のシンボルとなっている良質な社会資本を対象。

大賞部門は過去に手づくり故郷賞を受賞した後、10年以上地元のシンボルとなっている良質な社会資本へ贈られます。